

講座『仏教保育論』をもつと



保育連盟理事長
東京・光輪幼稚園理事長・園長
真宗保育学会副会長
たかなわまさずみ

高輪真澄

（プロフィール）昭和57年慶應義塾大学大学院修士課程修了。現在、善永寺住職、武蔵野大学教育学部非常勤講師（仏教保育論担当）、（公社）日本仏教保育協会副理事長

私と『仏教保育論』

私は15年前から武蔵野大学で非常勤講師として『仏教保育論』を担当しています。大学院修了後、お寺と幼稚園に入り、昭和61年より非常勤で高校の日本史の教員もしていました。平成5年退職し、住職や園長として仕事をしていたところ、平成18年旧知の田中教照前学院院长より依頼があり、断り切れず、担当することになりました。

当時は90分15回の講義を4年生の前期で行うという設定でした。テキストとして日本仏教保育協会編『わかりやすい仏教保育総論』を使って講義を進めていました。

他の大学は

『仏教保育論』または『仏教保育』という講座は仏教系養成機関でもないところが多いのが現状です。私の

知っているところでは、立正大学、鶴見大学、武蔵野大学、京都西山短大、京都市教短大などで講座があり、真宗保育学会に加盟している本願寺派系の養成機関では仏教の講座はあっても『仏教保育』はやっていないというところがほとんどでした。

私の『仏教保育論』

大学4年生の前期の講義の内容を箇条書きにすると以下の通りです。

1. 仏教について 釈尊伝など1年生の復習。
2. 浄土真宗について これも復習。親鸞伝など。
3. 仏教保育の目指すもの 基本は三帰依。やくそく、ちかい、食事の言葉等。
4. 一日中仏教保育 朝から帰るまで。挨拶、歌、お参り、昼食、お帰りなど実際の動画も取り入れて。
5. 各宗派の保育 「まことの保育」も含め、各宗派の保育の実態。

6. 仏教保育の行事・歴史。

7. 「いのち」を大切にすること。

8. 平等の保育 東京都教育委員会編『みんなの幸せをもとめて』を使って、同和問題も含めて人権問題を考えていく。

昨年度はすべて、今年も一部オンラインによる講義となりました。そのためノートの整理をし、パワーポイント

のスライドをつくったり、事前配付資料を作ったり、手間がかかりましたが講義の内容が充実したように思います。園長先生、養成機関の皆様へ

私の講義を受けた学生が実際に幼稚園教諭や保育士になつてどう評価されているか、これが重要です。実は私の園に就職した学生もいます。十数年たち今では園の職員の中核として働いています。また就職した園の園長先生からも「何も知らないでこられるよりも、ずっといい」と高評価をいただいています。

現在私たち保育連盟に加盟している園は全国で962園。また日本仏教保育連盟に加盟している園は全国で1,100園あるそうです。ということは約2,000ほどの仏教系の幼稚園、保育園、こども園が日本中にはあります。各園が工夫しながら仏教保育やまことの保育を進めています。

今、ほとんどの園では教員や保育士が不足しています。その中で仏教保育の基礎を持った学生を一人でも多く、各養成機関で養成していただきたいと願っています。現在講座のある学校では一人でも多くの学生に受講を促さない学校では各教区の保育連盟などと連携して、講師を派遣してもらったり、方法はたくさんあると思います。例えば一年間の仏教の時間は、数回を仏教保育にするとか。学生の興味も楽しい講座なら深まると思っています。